

理科実験で
「お理工」に

袋井「お理工」整える

子どもたちが理科や
科学の実験にチャレンジ
する袋井市主催の
「お理工」が十七
日、同市で開催された。地元
の静岡理工科大の学生
らが講師となり、市内
の小学一、三年生と保
護者ら二十五人が、ス
ライムを作り、それを
ミニボールに任せた。



洗濯のりに蒸溜の水
で砂時計を流してかき
混ぜる。子どもたちは
目を凝らし、真剣な
表情で作業に取り組
む。講師は、子ども
たちの疑問に丁寧に
答えていく。実験は
おもしろいだけでなく
、科学的な考え方を
学ぶ貴重な機会とな
っている。子どもた
ちは、お理工を通じて
、科学の面白さを体
験し、学びたいと思
っている。

同大理工学部は、袋
井市と連携し、小学
生を対象とした「お
理工」を開催する。こ
れは、袋井市が「お
理工」を推進するこ
とをきっかけとして、
子どもたちが科学に
興味を持ち、学びたい
という思いを大切に
している。

袋井市 田中 健一

この記事・写真等は、中日新聞社の許諾を得て転載しています